
AHS Initialgroup
10th
Annyversary Book


10th
Anniversary♡


10th Anniversary!!


10th
Anniversary

しあわせの味、みんなと。


ただい…
おや？
くんくん
この香りは…
おかえりなさーい
ホットケーキだよ！
たくさん焼いて、くだものとクリームでいっぱい飾って～
で、みんなで一緒にお誕生日のお祝いするの！
よし、じゃあ僕も一緒に作ります！
まだまだ焼くよ～






アメヤ横丁



怪談のススメ

こんちゃ

「ユキちゃんに『怪談』の良さを教えたい」

「いきなりだな」

新聞から一ミリも目を離さずに応える。鼻息荒くこちらににじりよってくるミキなど見えない。幻覚だ。今日も俺は疲れている。うん。

「ニッポンの怪談といえばぁ世界に誇るジャンル！触れるのは早い方がいい。でしょ?ね?ね！ね！！」

世界に誇るならジャンルとか言うな、軽く扱ってんじゃ…いや待て別に軽い扱いにはならないのか？コレ年寄りの発想?古臭い?え、俺今中年へ第一歩踏み出してヤバい？『ヤバい』がもう死語?。そりゃ俺だってもう30代…いやあともう1年くらい、いやまだ2年はイケる、よな…？」

心の声がつい出てしまう。オジサンの4文字が肩に重くのしかかる。

「何ぶつぶつ言ってるの?ちゃんと聞いてる?」

俺の悲哀など伝わるはずもない彼女は胡乱な目でこちらを見る。いいよな、お前は。見た目年齢低いもんな。ついでに中身も。え?俺が老けこんでるだけ?うるさい。こっちは微妙なお年頃なんだ。

「でさ。まずは定番の番長皿屋敷からいこうかなと」

一枚、二枚のやつ?小学生受け微妙じゃないか?微妙なのは俺の歳だけにしてくれ…ってさっきからやかましいわ脳内音声。それとミキはにじりよってくるのをやめろ。

「だけどそれだと現代訳されたやつ必要になるんじゃないのか?」

「うん、だから先生イイ感じの選んでよ」

にっこり。効果音が聴こえそうだ。自分の可愛さわかっててやってんなこいつ。

「先生、さっきも年齢数えてたくらい数字好きでしょ?適任じゃん」

「な」

「な?」

「なにきっかけで数えてたと思ってんだお前はああああああああああああああああああ!」

「ちょっと歌ってないのにシャウトしないでってばー!。もう!」

ユキ「今日も仲いいなぁ」

十回目のハッピーバースデー

紅葉

「気づいたんだけどさ、明日で私達十周年じゃない？」
同期の三人で集まってこたつでくつろいでいると、mikiがみかんをほおばりながらそんなことを言い出した。
「もう十年だなんて信じらんないよね。時間経つのあっという間だもん。」
「十年とかそういう以前に二人はもう寝ろよ……日付変わるぞ？」
いいじゃん少しくらいと膨れる二人を見てあきれた顔をしていると、唐突にmikiが少し真面目な声色でこんなことを聞いてきた。
「あのね、二人はこれからも私と一緒にいてくれる？どこかに行ったりしない？」
不安そうな表情でmikiが突然そんなことを聞いてくるからユキと一緒に笑ってしまった。
「何だよ急に。十年も一緒にいるのに今更離れるわけないだろ。」
「ねっ。それともmikiお姉ちゃんは私達と一緒にいたくない？」
慌ててそんな事ない！と否定するmikiを横目にふと時計を見ると針は十二時丁度を指していた。
二人もそれに気づいたのか、二人同時に毎年聞くあの言葉を言う。
「「ハッピーバースデー！お誕生日おめでとう！」」
そういって二人がキヨテルも一緒にとこちらを見るので流されて俺も同じ言葉を言う。
「……ハッピーバースデー。おめでとう歌愛、miki。」
少し恥ずかしかったが嬉しそうな顔でこちらを見る二人を見てると俺もなんだか嬉しくなってくる。
「えへへ……。じゃあこれからもよろし……く……ね……？んぅ……」
「miki？」「mikiお姉ちゃん？」
満足して眠くなってきたのかmikiはこたつに突っ伏してそのまま寝てしまった。
折角の記念日に風邪を引かれては困るので寝てしまったmikiを部屋まで運ぼうと立ち上がるとユキが服の裾を引っ張る。
「ねぇキヨテル。勿論、私とも一緒にいてくれるよね？」
そちらを向けば普段の子供らしい表情ではなく、少し大人びた表情で先程のmikiと似たような事をユキが聞いてきた。
「バーカ。何当たり前な事聞いてんだよ。当然だろユキ？」
「ちょっと！馬鹿なんてひどーい！……ふふっ。ありがとう。」
mikiを抱えながら二人で軽口をたたく。そうして夜は更けていくのであった。

やっぱり氷山先生は(かわ)いい先生

礫瀬杏珠

　隣の席の氷山先生は子どもに人気で授業も面白い尊敬出来る良い先生だ。だけど授業の合間なんかに職員室に戻って来ると素が出るのか少し、いやかなり天然でほんわかしている。

「ああ、花まるのグルグルの数間違えちゃいましたね……葉っぱ付けときましょう」

　作業しながらの独り言が可愛い。因みに三重の花まると、四重の花まると、葉っぱ付きと植木鉢というパターンがあるらしい。すぐにインクが無くなってしょんぼりしてる姿も見掛ける。詰め替えのインクをあげると笑顔で「ありがとうございます」と丁寧にお礼を言ってくれる。ところでそんなに高頻度で赤インクが切れるレベルの丸つけってやり過ぎですよ、先生。

　まだまだ可愛い、否、天然な話がある。

「氷山先生、あいうえお順をもっとキッチリした感じで短く書きたいんですけど」

　ついこの間も資料作りをしながら、そんなふうに氷山先生に聞いてみた。するとどうだろう。

「……五十音順、でしょうか？」

「なるほど」

　頭の回転が早いなあと感心しつつ五十音、と打ちかけた所で氷山先生がちょっと待ってと声をかけた。真剣な声だった。

「イロハニホヘトも五十音ですよ？」

　もう世は令和ですよ。と呆れ気味に言うと「私ガ小学生ノ頃ハソウデシタヨ？」とわざとらしく棒読みで氷山先生が言う。偶に真剣な顔して自らボケてみせるから無表情を装うのが大変だ。これは笑ったら負けな奴だ。

「時に、詰め替えの赤インク余ってます？」

　そう言って彼が首に掛けてる名札に留めた赤ペンを取り外す。事務室行けばくれるよって教えたいんだけどついつい渡してしまう。これはそう、さっきの五十音順のお礼だ。断じて先生のしょんぼりした顔が可愛いからでは無い。

　後はついさっきの話なのだが、「インクのお礼の品です」そう言って氷山先生がコーヒーを差し出した。お徳用と書かれたコーヒー豆で淹れる給湯室のいつものブラックコーヒーだ。

「お礼の品、いただきます」

　冗談半分に笑いながらそう言うと、氷山先生がやっと笑った、と言って優しく微笑んだ。

「お仕事忙しくて大変だとは思いますが、やっぱり笑ってる顔の方が素敵ですよ」

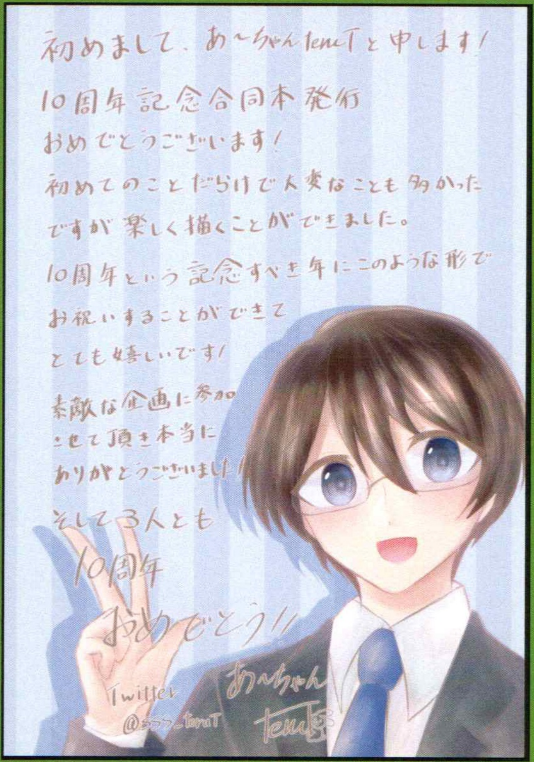
　気を付けます、と答えてコーヒーを飲んでると、誰でも笑顔になれる最終兵器を差し上げましょう、と言って氷山先生は丸い飴玉みたいなラッピングのチョコを手渡してきた。一粒百円くらいする、赤い包み紙の大きな粒のやつだ。

「すごく甘いけど、コーヒーに合うんですよ」

　授業中ですけど、と戸惑いながら言うと隣の席に戻った氷山先生が時計を見てハッとした顔をして内緒です!と言って、しーっ、と口の前へ人差し指を立てた。ああ、やっぱり……


10th!!

執筆者コメント


初めまして、あ〜ちゃんtenuTと申します！
10周年記念合同本発行
おめでとうございます！
初めてのことだらけで大変なことも多かった
ですが楽しく描くことができました。
10周年という記念すべき年にこのような形で
お祝いすることができて
とても嬉しいです！
素敵な企画に参加
させて頂き本当に
ありがとうございました！
そして3人とも
10周年
おめでとう!!
Twitter
あ〜ちゃん
tenuT


10週年！
これからも
応援
していくぞ！
蘇芳@suou36262


キャシャリン@keityuke11
omedetou!!
AHS初期組10周年&アンソロ発行
おめでとうございますー！！
参加させて頂き感謝！！(*^ω^*)



AHS初期組 10周年記年
合同本
発行おめでとうございます！

10周年…自合の青春時代(?)と
共に年を重ねてきたようなもので
本当にあっという間だった…！という
コメントしか出ません

イラストは見たまんまですが3人が
乾杯――――！ってしてる
イメージで描かせていただきました！

大変光栄なご機会を頂き、
ありがとうございました――!!

ネコヤナギ
(Twitter：@28yanagiii)



12月4日(水)

日直
歌愛ユキ
3ーミキ

百合花と申します
主催の浅葱紅音さんをはじめ、本誌に参加された皆様、本誌を手に取ってくださった皆様、そして
miki ちゃん、ユキちゃん、先生に
たくさんの感謝を！！！
十周年おめでとう！！！

Twitter @yurika04251016
pixiv ID yurika1016

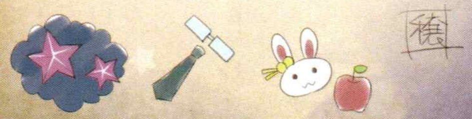


百合花

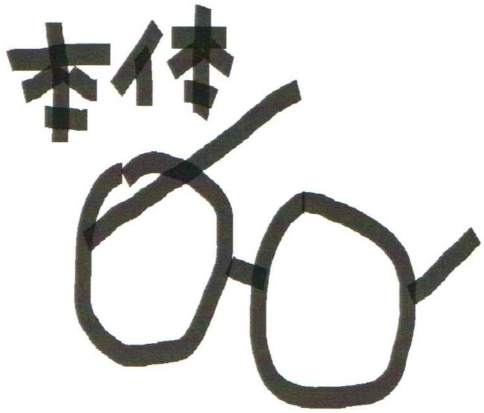
AHSボカロ初期組 10周年 おめでとう ございます!!

本文イラストでめでたい感が出せなかったのですが、タピオカドリンクでお祝いしてるということでひとつ…
彼らに出会わなかったらもっと違う今になってました。間違いなく。

存在してくれてありがとう!!



Twitter：@nukaboshidou
https://peanutsmino.wixsite.com/nukaboshidou



AHS初期組のキヨテル先生・mikiさん・ユキちゃん！
10周年おめでとうございます！！！！！
キヨクラ歴、AHSクラスタ歴ともに短いワタクシです
けれども、今回参加できて大変楽しくまた光栄でした。

またこのような形で皆様とお祭り騒ぎができることを
祈って最後になんとか全力でキヨテル先生を頑張って描
いてみました(゜∀゜)

こんちゃ (Twitter @papamamanonsuki)

初期組十周年おめでとうございます！
俺もなんかやりたい！(｀・ω・´)ｼｬｷｰﾝ
という感じで参加させていただきました。
小説を書くのは初めてで拙い文章に
なりましたが読んでくれたら嬉しいな…！

\\おまけ//
(キ-ω-)今日誕生日だけど
　　　　二人はなに食べたい？
(ユ・ω・´)りんご！
(キ-ω-)毎日食べてるでしょ
(ミ>ω<)プルーン死ぬ程食べたい！
(キ-ω-)お腹壊しても知らないからね
(ユ・ω・´)じゃあパウンドケーキ！
(ず・ω・だ)ずんだ大明神
(ミ>ω<)りんごとプルーンいれてね！
(キ・ω・)誰だ今の

紅葉(@kureha908_57)



これは余談と言うやつ

10th

まずはじめに10周年の合同誌に参加させていただき、
誠にありがとうございました。

職員室の癒し担当、氷山キヨテル先生。
そんな感じで書かせて頂きました。
10周年関係ないなあとは思いました。
すみません。

敢えて視点は男女とか分からないように気をつけて
書きました。夢視点でも、他のキャラと話してると
思っていただいても構いません。

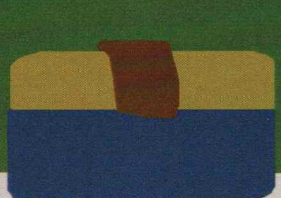
Happy Birthday!!

小説の中で描いたのですが、
先生方が持ってる色味がピンクな赤ペン。
あれ、「採点ペン」って言うらしいです。
まんまですね。
このページの花まるはそれっぽい色で私が手書き
しました。
花まる、予想以上に難しいです。

脱稿した暁にはコーヒーと一緒に食べようと、
リンドールの赤いチョコを買って来ました。

参加出来てとても楽しかったです!!
ありがとうございました！

礫瀬杏珠(レキセアンズ)
Twitter：rekiseAnzu

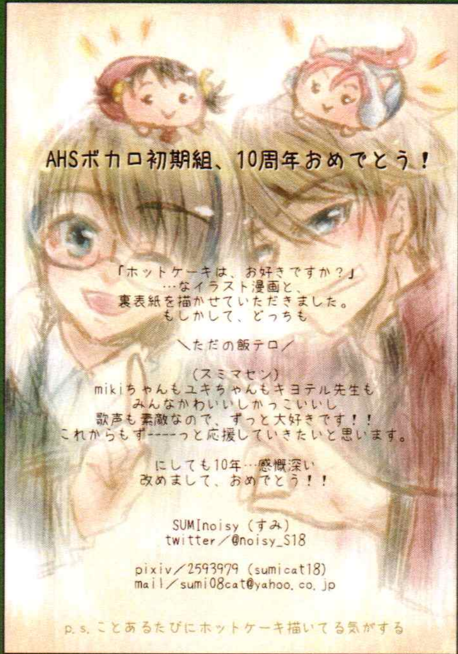


めまして、私は今回の表紙担当の星川です。
語は下手くそから何か変なのを言ったら
よるしてください><
いてこんな活動を参加して表紙を担任するのは
に不安、でも頑張って描いた
しくお願いします^^



Anna Hoshikawa





氷山キヨテル、歌愛ユキ、SF-A2開発コードmiki

10周年おめでとうございます！

せっかくの10周年、何かしたいと思い
今回合同本の主催をやらせていただきました。
沢山の方々に協力していただき
本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
今までの10年も、
これからの未来も、
みんな揃って笑っていますように。
三人を生み出して下さり、
ありがとうございました。

AHS初期組
大好きだよ！

普段はコスプレイヤーメインです。
浅葱紅音(@Arikaze_cos)

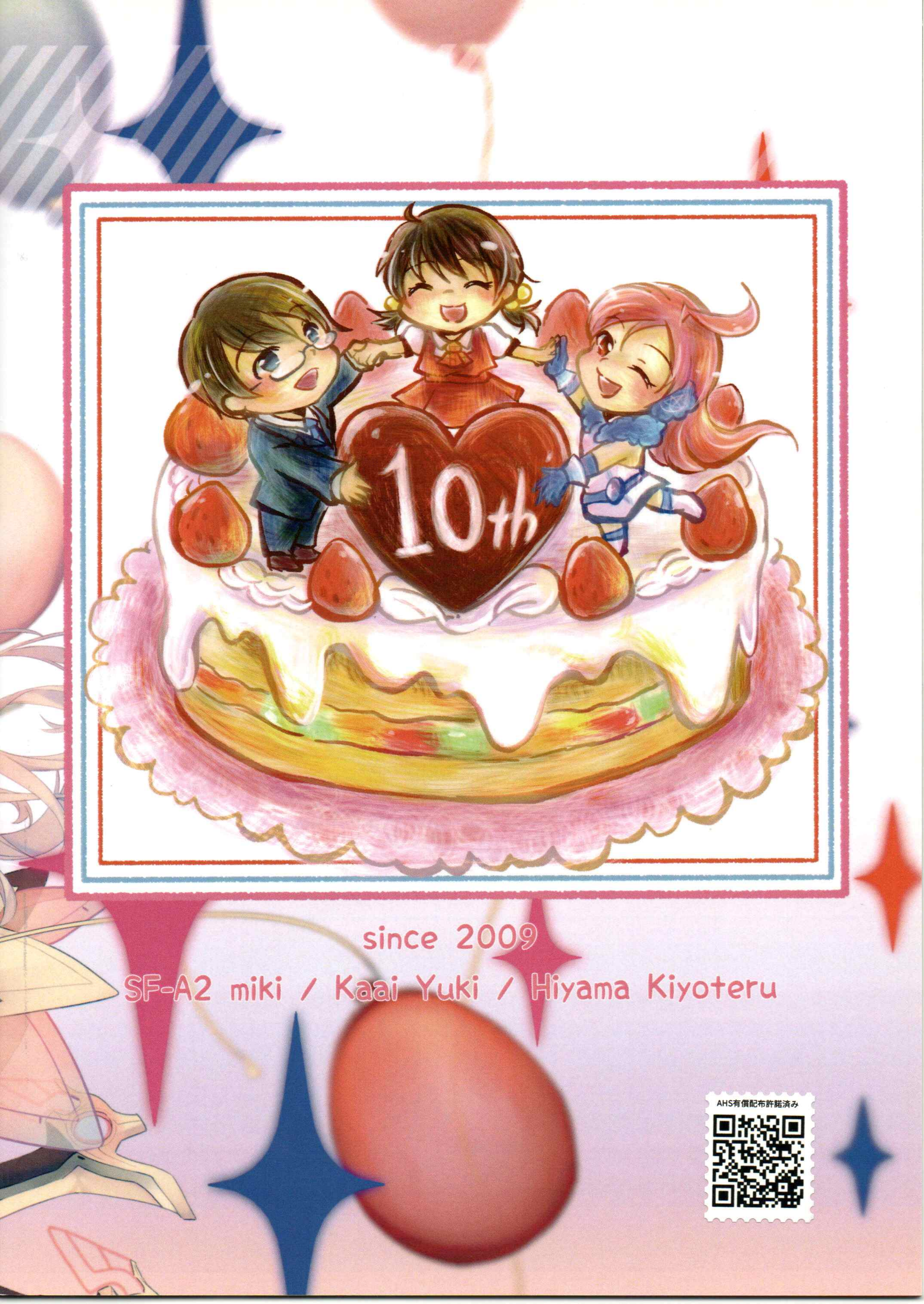


Photo:ようかんさん



発行日:2019/11/17
印刷所:オレンジ工房
発行責任者:浅葱紅音

連絡先:yokocho.shotengai@gmail.com


10th
since 2009
SF-A2 miki / Kaai Yuki / Hiyama Kiyoteru
AHS有償配布許諾済み